



トウモロコシ

糖度が高く、粒がふっくらとみずみずしい夏野菜



6 月下旬〜7月中旬に収穫時期を迎えるトウモロコシ。市内のトウモロコシ畑では、1本1本手作業による収穫作業が行われています。生産農家の深澤栄次さん（伝法）は、「私が育てている品種は、2月下旬に種をまきます。この時期は気温が低いので、ビニールハウスの中で発芽させます。室内や地面の温度を20度以上に保ちながら、茎が10〜15センチメートルに成長するのを待ち、その後、外の畑に植えかえます。栽培で大変なことは、茎が倒れないように定期的に土を盛ること、害虫やカラスの被害を防ぐことです。傷がつくと商品になりません」とトウモロコシ栽培の大変さを話します。



育成を確認する深澤さん

「収穫の目安は、実の先端まで粒が膨らんだもので、1日で約1000本収穫します。日が昇ると甘み成分が実から茎に移ってしまうため、午前4時から作業を行い、新鮮で糖度が高い状態で出荷します。生のまま食べてもとても甘いですよ」と話します。今が旬の地元産トウモロコシを、皆さんもぜひ味わってみてください。

息の合ったハーモニーで、童謡やフォークソングを歌う双子デュオ ぴのん



東 京都内で歌っていた双子デュオの「ぴのん」（ひとみさん「姉」、のぞみさん）。ことし2月、地元富士市に戻り、プロとして活動を始めました。「小学生のときに歌った二部合唱で、2人で歌うことの楽しさを知りました。『ぴのん』を結成したきっかけは、大学3年生のときに参加したライブで、観客の投票による『オーディエンス賞』を受賞したことです。私たちの歌を聞いて、喜んでもらいたいという気持ちが強くなりました」と話します。「現在は、ミニコンサートなどを開催しながら歌の経験を積んでいます。地元の皆さんが温かく迎えてくれたことに感謝し、歌で地元を元気にし、市内外に富士市のよさを伝えていきたい



祖母手製の衣装を着て歌う、ひとみさん(左)、のぞみさん

です。また、童謡やフォークソングを歌い継ぐことで、異なる年代の人がつながり、一緒に楽しんでくれたらうれしいです」と目標を話してくれました。皆さんも「ぴのん」の優しい歌声のハーモニーを聞いてみませんか。★「ぴのん」に関する問い合わせ ☎(34)5317（あーと・すぺーす Poppo）



杉山 未乃波ちゃん (中野台) H27.6.24生

「かわいい笑顔をたくさん見せてくれてありがとう！」



萩原 彩ちゃん (厚原) H26.12.24生

「これからもステキな笑顔でみんなを幸せにしてね♪」

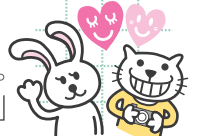


鈴木 智大ちゃん (今泉) H27.9.2生

「みんなの宝物チーちゃん。かわい過ぎてメロメロ♡」

HAPPY PHOTO'S

我が家のアイドル



★我が家のアイドル大募集!!
あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを大募集!!詳しくは広報広聴課まで。
☎(55)2700 ☎(51)1456
kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp